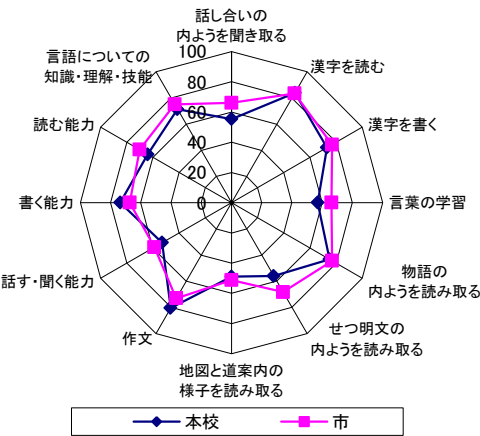


宇都宮市立上河内西小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの円ようを聞き取る	55.3	66.1
	漢字を読む	84.0	83.5
	漢字を書く	73.0	76.9
	言葉の学習	57.0	66.2
	物語の円ようを読み取る	75.0	77.0
	せつ明文の円ようを読み取る	56.0	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	49.0	51.2
	作文	80.5	73.1
観点別	話す・聞く能力	53.0	58.9
	書く能力	73.6	67.2
	読む能力	63.9	70.2
	言語についての知識・理解・技能	71.5	75.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	話し合いの内容を聞き取る設問では、どの設問でも市の正答率を大きく下回った。 特に話の中心に気を付けて聞いたり、話題の共通点に気を付けて聞いたりする設問の正答率が低くなっている。	話し合いの内容そのものについての聞き取りの学習はしてきている。しかし、話し合いを聞いた上で、共通点を見つけたり、見つけた共通点について反論したりする力が身に付いていない児童がいる。 話し合いの学習では、内容を聞き取るだけでなく、中心の話題が何かということに気を付けたり、共通点を見つけたりすることができるように、今後指導していきたい。
漢字	既習の漢字を読む設問では、ほとんどの設問で、市の正答率を上回っている。 一方、既習の漢字を書く設問では、ほとんどの設問で市の正答率を下回っている。	漢字を読むことができていますが、書くことになると、難しくなってしまう児童がいるので、3・4年生の漢字を中心として復習できるように、家庭学習などを通して取り組むことができるように指導していきたい。
言葉の学習	言葉の学習の設問では、修飾語を選ぶ設問では、市の正答率を上回ったが、下回る設問もあった。 特に、違う読み方をする漢字を選んだり、漢字辞典の使い方についての設問が大きく下回っている。	漢字辞典の使い方では、部首名や総画数などから使うことができるという学習をしてきたが、漢字そのものの意味を調べるための使い方について、これから学習していきたい。
物語の内ようを読み取る	物語の内容を読み取る設問では、登場人物の様子を読み取る設問は市の正答率を上回ったが、登場人物の気持ちをを読み取る設問では、市の正答率を下回った。	物語文では、登場人物の気持ちを文章から読み取ることができるように、文章中の言葉に注意して読み進めたり、気持ちの変化に注目しながら読むことができるように指導していきたい。
せつ明文の内ようを読み取る	説明文の内容を読み取る設問では、段落の要点や細かい点に注意して、文章から読み取る設問で、市の正答率を大きく下回った。	説明文では、段落の要点や細かい点に注意して読み取ることが苦手な児童がいるので、説明文を読むときには、要点をまとめる学習をしたり、言葉に気を付けて読み取ることができるようにしたりして、今後指導していきたい。
地図と道案内の様子を読み取る	地図と道案内の様子を読み取る設問では、地図を読み取った上で、適切な言葉づかいで話す言葉を書く設問では、市の正答率を上回った。 しかし、地図を正しく読み取り、答える設問では市の正答率を下回った。	地図を見て、自分で道案内をすることはできる児童は多いが、その案内に修正を加えたり、新たな考えを出したりすることが苦手な児童がいる。今、分かっていることをきちんと把握させて、その上で別の視点から考えることができるような問題に取り組むなどして、指導していきたい。
作文	作文の設問では、すべての設問で市の正答率を上回った。特に、書こうとすることの理由を挙げて書くことでは、市の正答率を大きく上回った。	家庭学習として、作文を書くことを定期的に課題にしているの、今後も続けていきたい。また、授業などでも、指定された長さで文章を書くことに取り組んだり、段落構成を指定したりするなどして、様々な形式の作文を書くことにも取り組んでいきたい。